

令和6年度教育局予算 重点施策の体系図

第1回総合教育会議
配布資料 2
令和6年8月6日

仙台市教育構想2021

基本理念「人がまちをつくり、まちが人を育む学びの循環のもと、たくましく、しなやかに自立する人を育てます」
の実現に向け、6つの基本方針を総合的に進めます

基本方針Ⅰ

夢と希望を持ち、自らの可能性に挑戦する力を育てる学校教育

GIGAスクール構想・教育DX

新 教育情報ネットワーク強化 〈69,562千円〉

ICT教育を推進するためネットワーク全体を強化

新 校務支援システムへのダッシュボード機能の導入 〈11,165千円〉



校務支援システムに入力された様々な情報を集約化・可視化⇒児童生徒の迅速な状況把握や効果的な施策展開に活用

新 体力・運動能力調査 デジタル集計システム導入 〈353千円〉



・モデル的に導入
・調査結果の効果的な活用や家庭内での共有が可能に

基本方針Ⅱ

健やかな心身を備え、豊かな人生を拓く力を育てる学校教育

いじめ防止対策

● スクールカウンセラー 〈292,498千円〉

全市立学校週1日配置を継続

〔拡〕 スクールソーシャルワーカー 〈71,991千円〉

13人⇒23人に増員し、40中学校区をカバー

〔拡〕 さわやか相談員 〈47,459千円〉

配置校を130校⇒150校に拡充

〔拡〕 学級生活アンケート 〈14,364千円〉

対象：中学生⇒小5・6にも拡大

回数：1回⇒3回

学校からの依頼に対応する派遣型と合わせて実施

部活動の地域移行

〔拡〕 部活動指導員 〈28,677千円〉

〔拡〕 部活動外部指導者 〈10,829千円〉

● 地域移行モデル事業 〈3,100千円〉

● 地域移行協議会 〈252千円〉

確かな学力の育成

新 英語教育改善のための研究 〈1,500千円〉

詳細な現状分析や中学3年生を対象とした抽出検査(英検IBA等)

基本方針Ⅲ

個性に応じた一人ひとりの学びを促し、長所を引き出す学校教育

学びの多様化(不登校支援)

小学校10校に新設
中学校35校に拡充(10校増)

〔拡〕 在籍学級外教室「ステーション」〈244,160千円〉

〔新〕 不登校児童生徒向けオンライン居場所支援 〈7,262千円※〉



※他局で実施するひきこもり者・困難を抱える若者向けオンライン居場所支援と合わせて実施

〔新〕 学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)へ通う児童への就学援助・通学費支援 〈3,718千円〉

〔新〕 教育支援センター、フリースクール等民間施設へ通う児童生徒への交通費支援 〈3,843千円〉

35人以下学級

小・中全学年で実施

〔拡〕 小学校6年生への拡充 〈142,899千円〉

特別支援教育

● 医療的ケア児通学支援モデル事業 〈1,920千円〉

鶴谷特別支援学校での試行を継続する

● 通級指導非常勤講師の追加配置 〈4,692千円〉

〔新〕 インクルーシブ推進教諭モデル事業 〈30,000千円〉

教員の働き方改革

学校のマネジメント業務について支援・助言

〔新〕 副校長・教頭マネジメント支援員 〈3,800千円〉

● スクール・サポート・スタッフ(教員業務支援員) 〈107,100千円〉

基本方針Ⅳ

生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実

〔新〕 移動天文車の更新 〈41,370千円〉



新たな機能をプラスし、移動観望会をリニューアル!

←車両側面大型スクリーン

〔新〕 こどもわかものプロジェクト・ベースド・ラーニング 〈1,075千円〉

文化芸術の担い手の育成や表現活動の機会の充実を図るためワークショップ等を開催



基本方針Ⅴ

学びでつながり、郷土を愛し絆を深める地域づくり

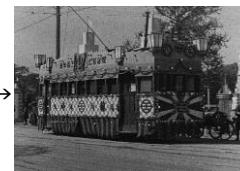
● せんだい・アート・ノード・プロジェクト 〈20,000千円〉

川俣正氏/仙台インプログレス(R5制作)→



〔新〕 コミュニティ・アーカイブの仙台モデル事業 〈724千円〉

まちの記憶をデータ化して利活用(写真は市電)→



● 仙台城跡整備推進 〈72,060千円〉

基本方針Ⅵ

学びを支える確かな教育環境整備

学校施設の安全・安心・快適化

〔新〕 特別教室・体育館への空調整備検討業務委託 〈15,687千円〉

〔新〕 特別教室へのルームエアコン整備 〈410,000千円〉

〔新〕 体育館等への大型冷風機設置 〈192,000千円〉

〔拡〕 トイレ洋式化前倒し 〈195,334千円〉

● 防犯カメラ整備 〈225,000千円〉



↑空調がついた体育館



↑冷風機のイメージ

ICT環境整備

〔新〕 学校情報セキュリティ対策 〈8,438千円〉

学校PCへのリモートアクセス

その他

● 学校給食材料費(物価高騰分) 〈706,499千円〉



● 大倉小跡施設利活用事業化検討業務 〈5,000千円〉

● 科学館展示リニューアル(～R6) 〈総額約19億円〉